

# 記入例

## 東京都GAP(野菜)「チェックシート」

「評価」は農場としての評価を記入する。複数品目を申請する場合で、当該管理基準の「評価」に該当しない品目がある場合は、「具体的な取り組み状況」にその旨を明記する。  
 ※農場としての「評価」が適正だが一部の品目ではできていない場合や、管理基準にそもそも該当しない品目がある場合など。  
 (No. 16の記入例を参照してください)

		東京都GAP(野菜)		重要度	評価 (○、×、—)	具体的な取り組み状況 (「評価」に該当していない品目等がある場合、具体的な内容を記入すること)	ガイドライン 対応番号	
		「管理点と管理基準」						
小区分		管理点	管理基準					
農業経営	経営理念	1 「食べ物」(安全な食料)を生産しているという基本的な姿勢を持っている	①農場の理念を定めている	必須	○	農場の理念を作業場に提示した。	都	
			②理念を実現するための行動指針を定めている	推奨	○	行動指針を作業場に掲示した。	都	
	管理体制	2 農場の管理体制ができています	①農場責任者(経営主)、栽培責任者(農作業、安全・保守点検)、資材責任者(資材、農薬、肥料、燃料等管理)、品質管理責任者(出荷管理、クレーム対応等)を配置している	必須	○	農場の組織図を作成し、農場主が全部門の責任者と定めた(ファイリング)。	48	
			②各責任者は、役割について理解している	必須	○	話し合いの機会を設け、責任の内容について全員で確認した。	48	
	知的財産	3 新しい技術や品種の開発時に、必要となる知的財産を保護する手段を知っている	権利化・秘匿・公開の3手段について理解し、該当する技術や品種があれば、特許・品種登録等をしている	必須	○	該当する知的財産はなし。保護する手段についての概要は学習済み。	41	
	生産工程管理	4 ほ場管理台帳を整備し、保存している	ほ場の所在地と面積、栽培施設、灌水施設等を記載した台帳および図面を作成し、保存している	必須	○	作成し作業場に掲示している。	43	
			5 栽培と出荷の計画をたてている	栽培開始前に計画をたてている	必須	○	計画を立て、ファイリングしている。	48
				6 適正管理規準に基づき、自己点検を実施し、改善に向けた取組をしている	①点検項目を策定し、農作業等の内容を記録、保存している	必須	○	このチェックリストを使用している。
	②1年に1回以上の自己点検・内部点検を行い、改善に向けた取組をしている	必須	○		毎年、点検日を定めて結果を綴るファイルを設けた。	48		
	収穫・出荷の記録	7 収穫の記録を付け、保存している	①ほ場毎に品目、収穫日、収穫数量を記録している	必須	○	様式を作成し、○月○日より記録を開始した。	48	
			②記録は1～3年間保管している (保存期間は取り扱う流通実態に応じて設定)	必須	○	様式を綴るファイルを用意し、保存期限年月日を表紙に記入した。	49	
		8 出荷の記録を付け、保存している	①ほ場毎に品目、出荷日、出荷数量、出荷先を記録している	必須	○	様式を作成し、○月○日より記録を開始した。	47	
②記録は1～3年間保管している			必須	○	様式を綴るファイルを用意し、保存期限年月日を表紙に記入した。	49		

# 記入例

## 東京都GAP(野菜)「チェックシート」

「評価」は農場としての評価を記入する。複数品目を申請する場合で、当該管理基準の「評価」に該当しない品目がある場合は、「具体的な取り組み状況」にその旨を明記する。  
 ※農場としての「評価」が適正だが一部の品目ではできていない場合や、管理基準にそもそも該当しない品目がある場合など。  
 (No. 16の記入例を参照してください)

		東京都GAP(野菜)		重要度	評価 (○、×、—)	具体的な取り組み状況 (「評価」に該当していない品目等がある場合、具体的な内容を記入すること)	ガイドライン 対応番号	
		「管理点と管理基準」						
小区分	管理点	管理基準						
ほ場	リスク評価と対策	9	ほ場(ハウス)のリスク評価をしている	土地の使用履歴、土壌の性質、土の有害物質汚染、水質、水量の確保について、リスク評価を行っている	必須	○	4で作成した圃場リストを利用して、リスクの洗い出しを行った。	1
		10	ほ場周辺の環境を確認している	ほ場内に周辺の環境から、危険要因(微生物、化学的、物理的)の流入等がないかどうか、検討している	必須	○	4で作成した圃場リストを利用して、リスクの洗い出しを行った。	1
	衛生	11	ほ場や施設内は清潔にしている	①植物残さは放置することなく、適切に処理している	必須	○	残さ置き場を定め、そこにまとめている。	18
				②ほ場やほ場周辺に廃棄物を放置していない	必須	○	廃棄物置き場と、分別方法を定め、片付けた。	1
		12	栽培施設に鳥や哺乳動物などが侵入しないようにしている	ネットの設置や壊れた部分は修理している	必須	○	ほつれ等の破損を見つけた際には速やかに修繕し、毎月必ず点検をするようにしている。	12
	13	ほ場周辺や施設には、手洗い設備やトイレがある	ほ場や施設の近くに使用できる手洗い設備やトイレがあり、汚水がほ場や施設、水路を汚さないようにしている	必須	○	作業場の隣に屋外トイレがあり、手洗い場もある。	10	
	水質	14	用水の水源を確認している	①水源の由来を把握している	必須	○	灌用水は水道、洗浄用は自宅敷地内の井戸水を利用。	6
				②使用水源が周辺の環境から判断して危険要因(汚染物質等)に汚染される可能性がある場合、水質分析(化学性)を行い、問題点を明らかにしている	必須	○	井戸水については水質検査を受け、問題ないことを確認している。(検査結果を持っている)	6
				③水源に農作物に危害を及ぼす要因がある病原性微生物が含まれないか把握に努めている	必須	○	飲用可能である。	6
				④問題がある場合、水の浄化装置の設置や用途によって水源を変えるなどの対策をしている	必須	○	特に問題はない。	6
	15	養液栽培システムで使用する水の危害要因を検討している	①水源によっては水質検査を行い、必要な場合には改善対策をたてている	必須	—	養液栽培は行っていない。	8	
			②主として生食用の葉物野菜の水耕栽培システムでは、病原性微生物の汚染防止対策をたてている	必須	—	養液栽培は行っていない。	8	
			③養液タンクに、病原性微生物の汚染や異物の混入を防止する対策をたてている	必須	—	養液栽培は行っていない。	8	
			④廃液は適切に処理している	必須	—	養液栽培は行っていない。	8	
	土づくり	有機質資材	16	有機物を活用した適切な土づくりに取り組んでいる	①都農作物施肥基準等を考慮し、堆肥の施用、稲わら等のすき込み、緑肥栽培などを行っている	必須	○	施肥基準をもとに肥料計算をしている。また、サツマイモ以外は堆肥の施用を行っている。
②堆肥を施用する場合は、完熟堆肥を使用している					必須	○	都内産××牧場の堆肥を利用。分析結果表を取り寄せてある。(サツマイモは堆肥を施用しないため、評価対象外)	25